

# 東日本大震災での緊急災害対策派遣隊(テックフォース)における 河川管理施設点検報告

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、中部地方整備局の災害支援である緊急災害対策派遣隊(テックフォース)として、3月21日から3月27日まで活動してきました。

新丸山ダムから3名、丸山ダム管理所から1名と運転手の計5名で宮城県の阿武隈川中流部の河川管理施設点検を実施しました。点検は堤防を横断して住宅地から川へ排水する樋門(ひもん)・樋管(ひかん)という施設で出水期に向けての機能の確認です。樋門・樋管の中に入ってひび割れの調査や樋門・樋管本体周辺の護岸や堤防の沈下状況などを調査しました。

新丸・丸山班の調査点検担当区間における樋門・樋管本体は大きな被災はありませんでしたが、河口部は被災を受けており、梅雨期や台風期に対しても心配なところです。

護岸の破損



樋管の門柱調査



樋門内部状況調査



## 新丸山ダム勉強会にて「防災・危機管理」をテーマに報告

平成23年5月20日、八百津町ファミリーセンターにて新丸山ダム勉強会を開催しました。今回は3月11日の東日本大震災の支援報告と今後の防災対策を充実するため「防災・危機管理」をテーマに、周辺地域の県、市、町、水機構の方にも東日本大震災における支援状況を報告して頂きました。

緊急災害対策派遣隊による河川管理施設点検、避難所運営支援や給水車支援、医療スタッフ派遣、物資支援、義援金、避難者の受け入れ等、各機関で支援内容は違いますが、1日も早い復興を願う思いはどの機関も同じであることを改めて認識し、有意義な意見交換、情報共有を行うことができました。



がんばれ東北！  
がんばれ日本！